

経営比較分析表（令和3年度決算）

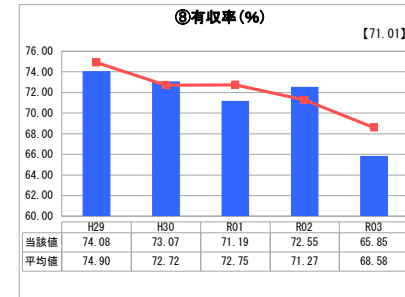
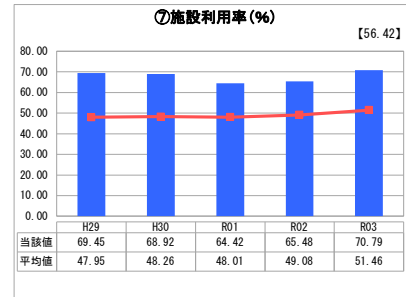
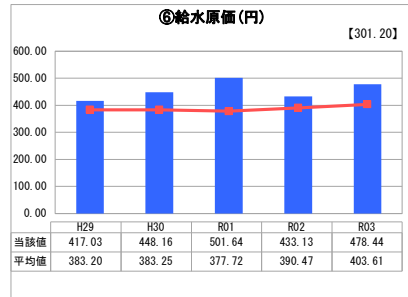
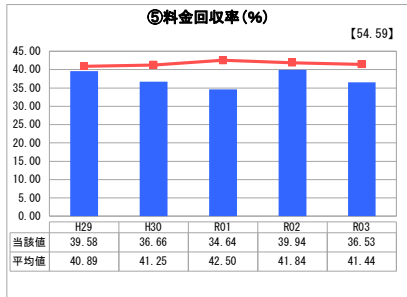
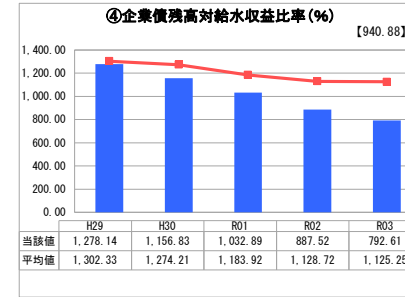
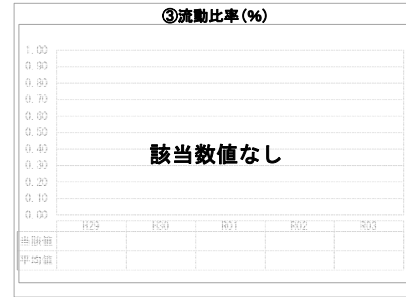
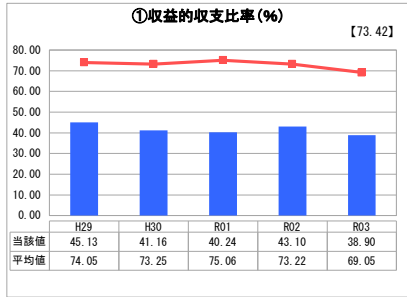
北海道 桃加内町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	93.35	2,991	

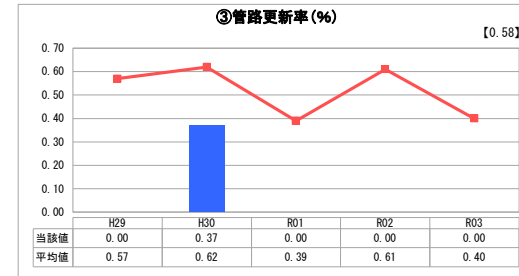
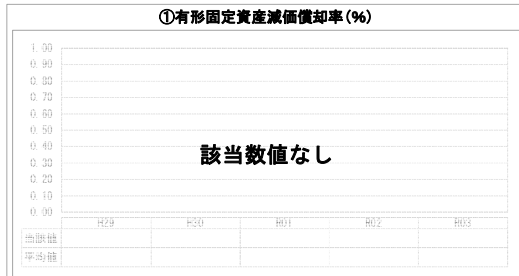
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,332	767.04	1.74
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,222	71.12	17.18

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○料金回収率・収益的収支比率
昨年度と比較して若干下降傾向。対応を検討していく。

○企業債残高対給水収益比率
近年は、企業債を発行して行う事業がなく、企業債の償還のみとなり残高が減る為、比率が減少し、改善傾向にある。

○施設利用率
7割弱の利用率となっており、給水量が増えたとしても余力があり対応可能なためこの利用率を維持していく。

○有収率
令和3年度は有収率が大幅に下がってしまったため、次年度以降有収率の上昇に努める。

2. 老朽化の状況について

○管路更新率
近年の管路更新率は低い状態にあり、経過年数等を見ながら更新の計画を策定していく必要がある。

全体総括

○当町は人口減少により増収が見込めない状況であり、一般会計からの繰入により運営している状況にある。料金の改定等の検討にこの分析表を活用し、比率の改善及び経営の安定化を図る。